

# 2021年度 決算説明資料

2022年2月14日  
株式会社オークネット  
(東証1部：3964)



# 目次

## 1. 2021年度 決算概要

- ・ 通期連結業績 P. 3
- ・ 4Qハイライト P. 5
- ・ セグメント別連結業績 P. 7

## 2. セグメント別実績

- ・ 四輪事業 P. 10
- ・ デジタルプロダクツ事業 P. 12
- ・ コンシューマープロダクツ事業 P. 14
- ・ その他 P. 16

## 3. 2022年度 業績予想

- ・ 連結業績予想 P. 18
- ・ お知らせ P. 20

## 4. 参考資料

**1. 2021年度 決算概要**

2. セグメント別実績

3. 2022年度 業績予想

4. 参考資料

## 2021年度 通期連結業績

- ▶ 年間を通じ「オーガニックの成長※」と「一過性の要因※」により、増収増益（売上高+52.5%、営業利益+57.8%）
- ▶ 下期には一過性の追い風は落ち着いたがオーガニックの成長は継続しており、2022年度もそれは続く見通し  
（詳細は、P.17「2022年度 業績予想」参照）

(百万円)	FY2020	FY2021	YoY	FY2021 通期修正予想 (2021/8/10)	達成率
売上高	24,078	<b>36,710</b>	+52.5%	36,655	100.2%
営業利益	3,705	<b>5,846</b>	+57.8%	5,600	104.4%
営業利益率	15.4%	<b>15.9%</b>	+0.5pt	15.3%	
経常利益	3,643	<b>6,113</b>	+67.8%	5,756	106.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,896	<b>3,625</b>	+91.1%	3,471	104.4%
1株当たり当期純利益	68円56銭	<b>130円56銭</b>	+62円00銭	124円36銭	105.0%
1株当たり配当金	21円00銭	<b>40円00銭</b>	+19円00銭	28円00銭	-
配当性向	30.6%	<b>30.6%</b>	+0.0pt	22.5%	-

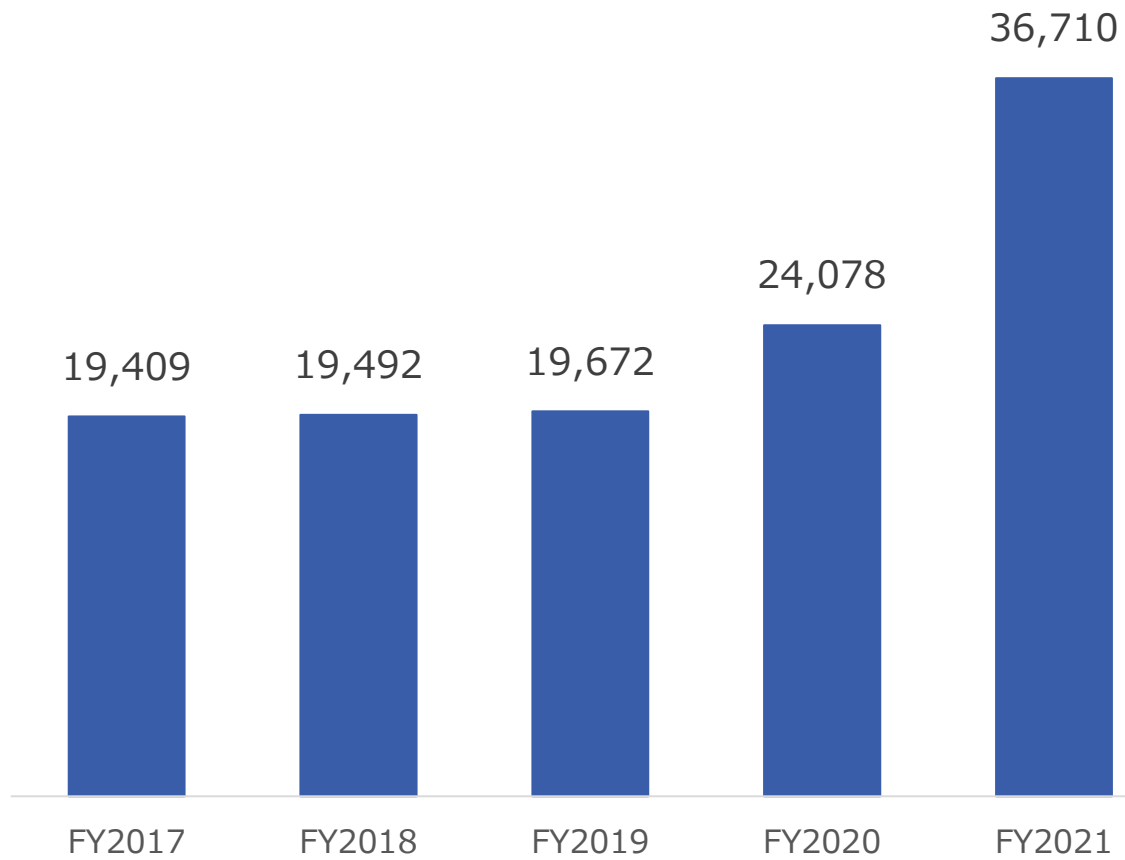
※ オーガニックの成長とは、販売網の強化や業務の効率化等の企業努力による成長を指します

※ 一過性の要因とは、円安や相場の高騰等、市場環境の変化によってもたらされ、継続性がない成長要因や減益要因を指します

# 2017~2021年度 年度別連結業績推移

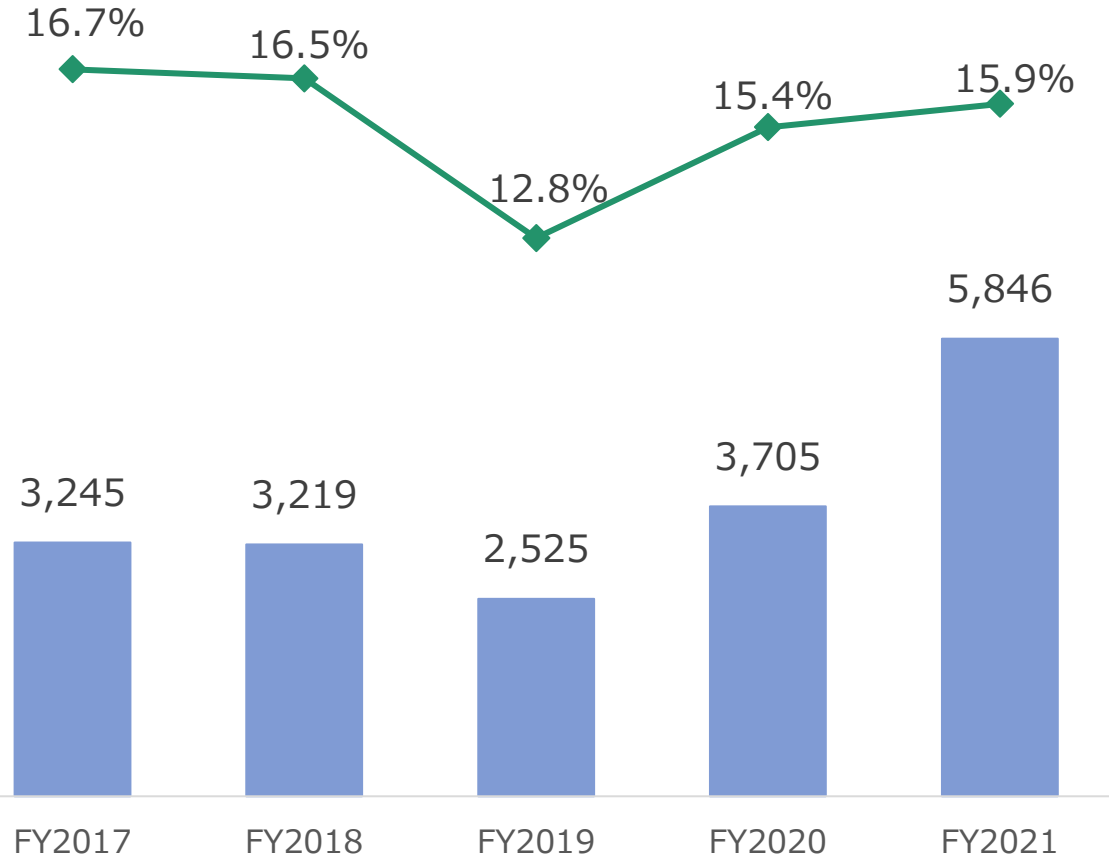
(百万円)

■ 売上高



(百万円)

■ 営業利益 ◆ 営業利益率



# 2021年度 4Qハイライト

売上高

**9,446**百万円

前年同期比 +13.6%

営業利益

**1,049**百万円

前年同期比 +11.0%

経常利益

**1,099**百万円

前年同期比 +22.6%

親会社株主に帰属する四半期純利益

**575**百万円

前年同期比 +107.8%

## 四輪事業

売上高 2,955百万円(△1.0%)

セグメント利益 824百万円(△13.8%)

- ▶ 半導体不足からくる中古車の供給不足が深刻化  
結果、総落札台数が減少し、前年同期比で減収減益

## デジタルプロダクツ事業

売上高 1,479百万円(△7.2%)

セグメント利益 800百万円(+36.8%)

- ▶ 10月末米国における現行事業について一旦見直しを決定  
その影響を除けば、前年同期比で増収
- ▶ バイヤー網の拡大や端末単価の高値維持により増益

## コンシューマープロダクツ事業

売上高 4,055百万円(+36.4%)

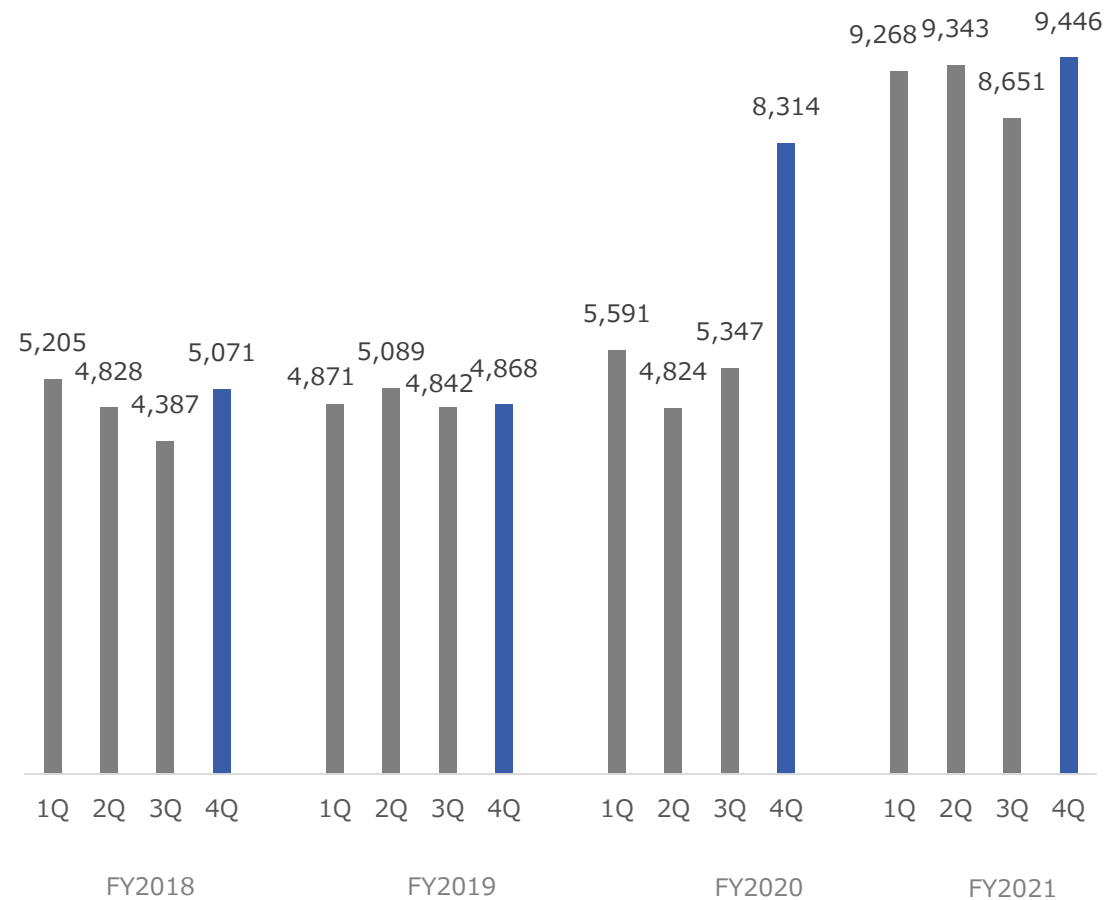
セグメント利益 367百万円(+111.0%)

- ▶ 国内外における会員ネットワークの拡大と各ブランド品の相場高により平均成約単価が上昇。結果、大幅増益
- ▶ C向け事業において販売顧客数が大きく増加。加えて相場高もあり結果、増収増益

# 2018~2021年度 四半期別連結業績推移

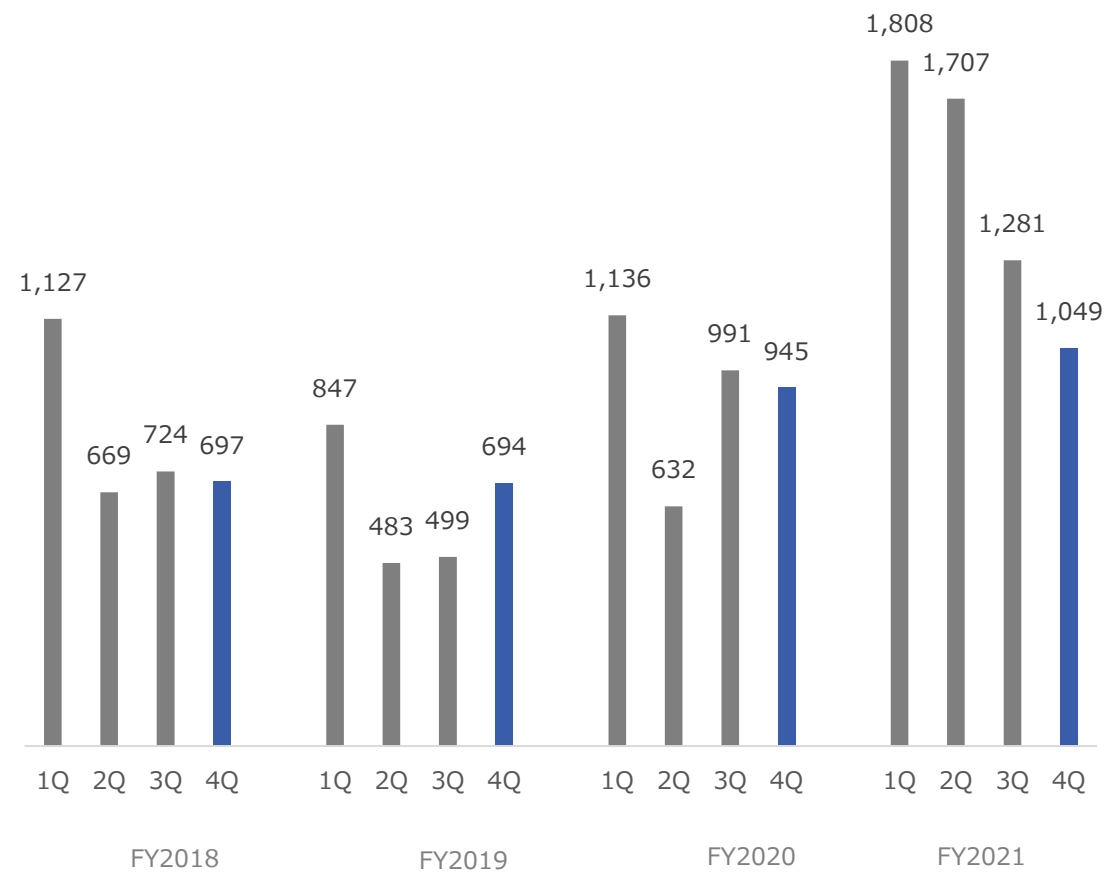
## 売上高

(百万円)

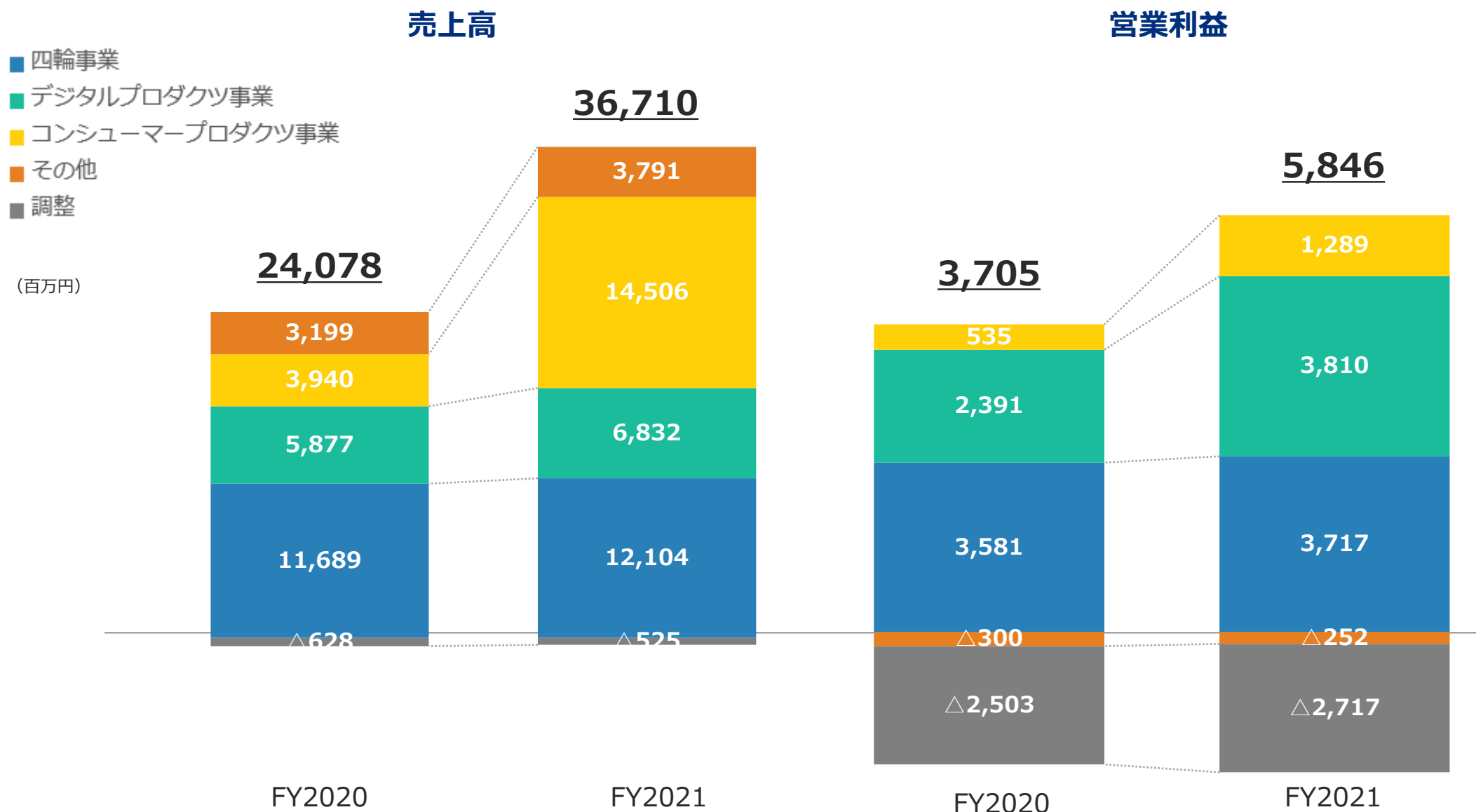


## 営業利益

(百万円)



# 2021年度 セグメント別増減分析





# 2021年度 セグメント別取扱高



取扱高総額

**447,747** 百万円 (前年同期比+18.1%)

## 四輪事業

**343,758**百万円  
(前年同期比+10.5%)



## デジタルプロダクツ事業

**42,812**百万円  
(前年同期比+25.6%)



## コンシューマープロダクツ事業

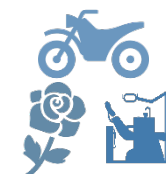
**41,257**百万円  
(前年同期比+116.7%)



※ 2020年4Qより、(株)ギャラリーレアの取扱高を合算しております

## その他

**19,920**百万円  
(前年同期比+33.3%)



※ 中古バイク事業、花き事業及び医療事業等  
※ 花き事業については、2020年3Qより(株)東京砦花き園芸市場及び2021年4Qより(株)グランブーケ大多喜の取扱高を合算しております

※ 取扱高は、各事業における当社のサービスを通じて流通した商材の成約代金や商品販売による売上高の合計です

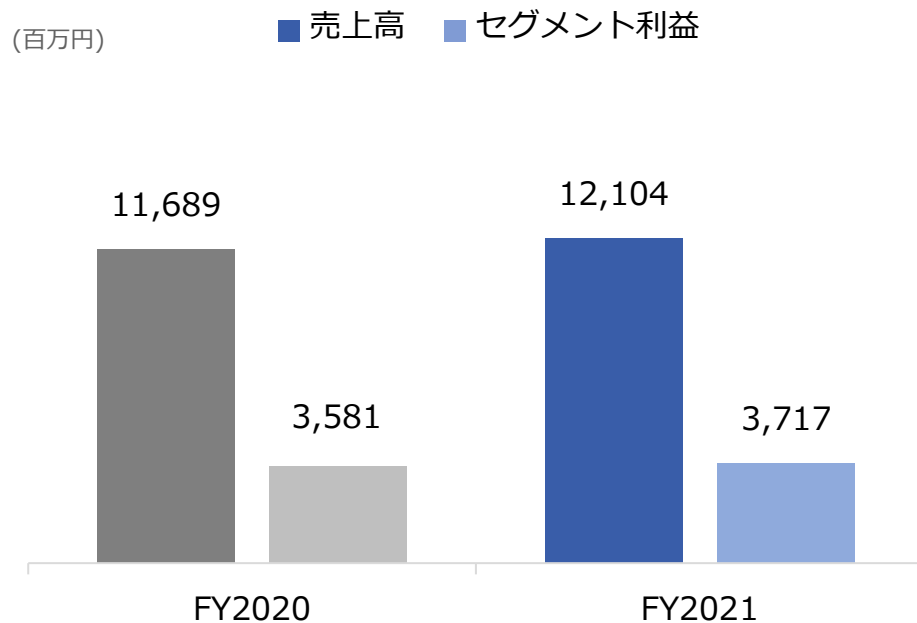
1. 2021年度 決算概要

**2. セグメント別実績**

3. 2022年度 業績予想

4. 参考資料

- 通期前年同期比で増収増益（売上高 +3.6%、セグメント利益 +3.8%）  
→4Qでは減収減益（売上高△1.0%、セグメント利益△13.8%）
- 中古車の供給不足が3Qに引き続き4Qにおいても続く。結果、ライブ中継オークション・落札代行サービスにおいては落札台数が前年同期比で下回る。一方で自社開催中古車オークションにおいては成約台数が堅調に推移し前年同期比で増加
- 車両検査サービスにおいて、3Qに続き4Qも現車会場受託及び自社開催のオークション検査台数は鈍化。一方で中古車情報誌掲載の検査台数は好調に推移。結果、検査料売上は増収



## 売上構成

(百万円)	FY2020	FY2021	YoY
オークション関連	5,165	5,347	+3.5%
会費	2,754	2,702	△1.9%
検査料	3,182	3,386	+6.4%
その他	1,828	1,883	+3.0%
調整	△1,242	△1,214	
<b>売上高</b>	<b>11,689</b>	<b>12,104</b>	<b>+3.6%</b>

## KPI

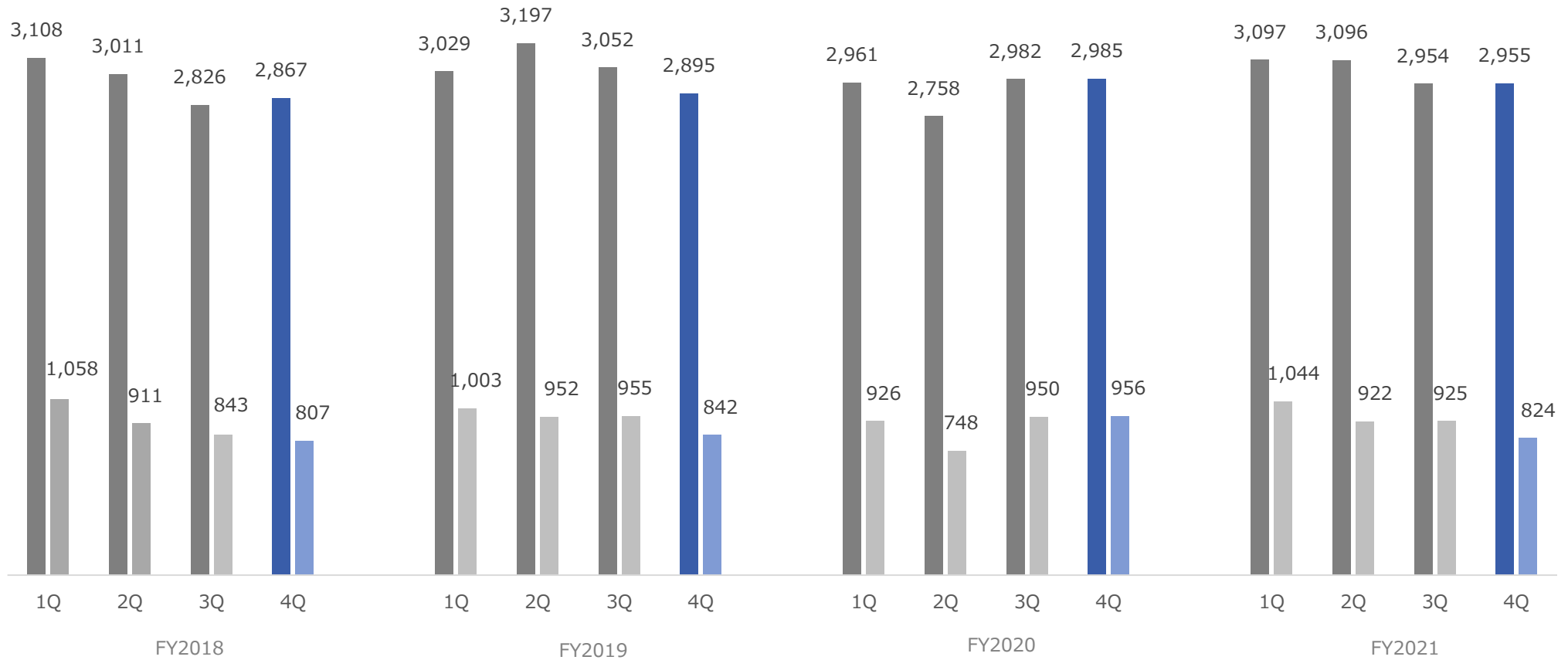
		FY2020	FY2021	YoY
オークション関連	取扱高 (百万円)	311,080	343,758	+10.5%
	総成約/落札台数 (台)	430,191	447,172	+3.9%
会費	会員数 (会員)	14,362	14,605	+1.7%
検査料	検査台数※ (台)	972,048	1,042,250	+7.2%

※ 中古バイク検査を含みます

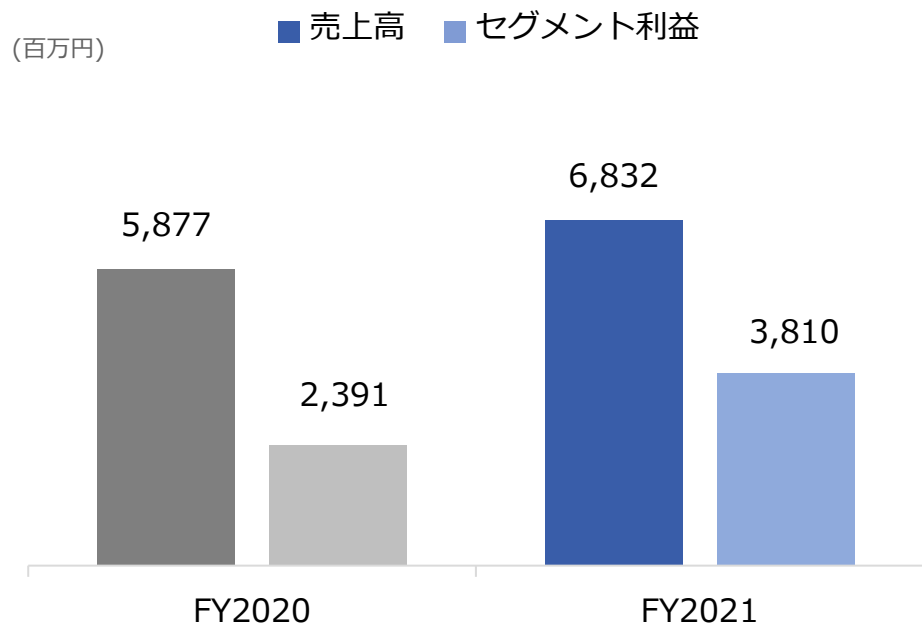
# 2018~2021年度 四半期別実績推移

■ 売上高 ■ セグメント利益

(百万円)



- 通期前年同期比で増収増益（売上高 +16.3%、セグメント利益 +59.3%）  
→ 4Qでは減収増益（売上高△7.2%、セグメント利益+36.8%）
- 10月末にて米国事業の一旦見直しを決定したことにより4Qでは減収。国内事業の成長により増益
- 国内事業において、4Qの流通台数は前年同期比で微減したがバイヤー網拡大により端末単価が高値を維持。費用を抑えたこともあり4Qも前年同期比増収増益



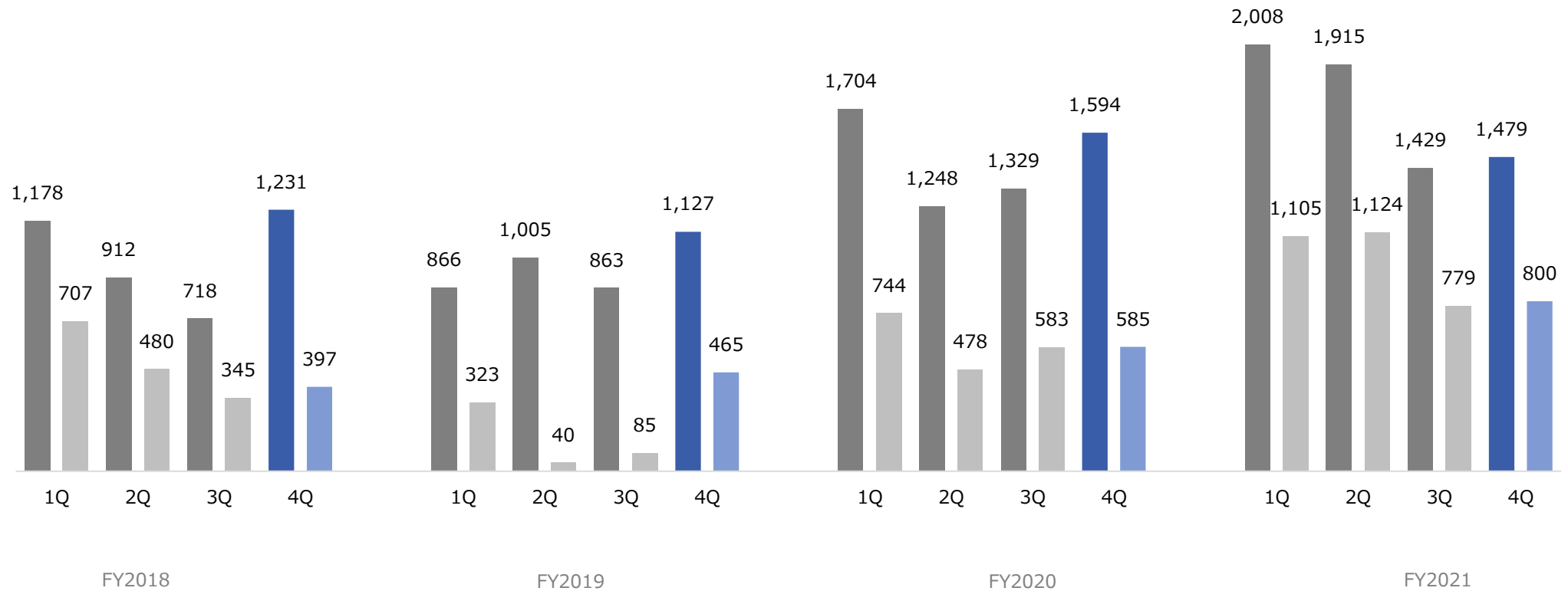
## 売上構成

(百万円)	FY2020	FY2021	YoY
国内事業	5,112	6,383	+24.9%
米国事業	768	449	△41.5%
調整	△3	0	
<b>売上高</b>	<b>5,877</b>	<b>6,832</b>	<b>+16.3%</b>

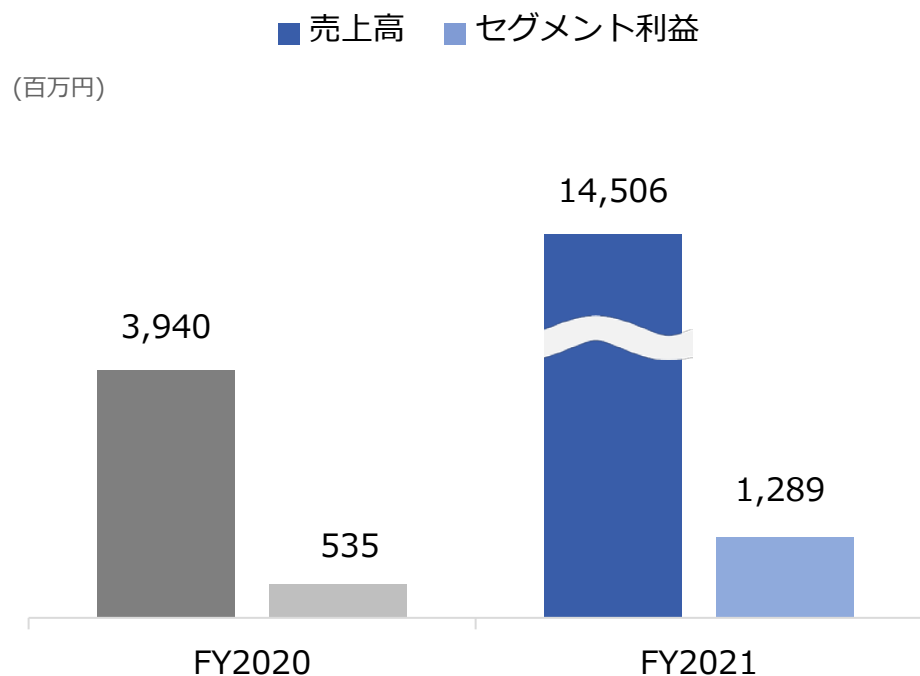
## KPI

		FY2020	FY2021	YoY
取扱高	(百万円)	34,079	42,812	+25.6%
流通台数	国内事業 (台)	2,143,612	2,296,657	+7.1%
	米国事業 (台)	652,127	317,593	△51.3%

■ 売上高 ■ セグメント利益 (百万円)



- ▶ 通期前年同期比で増収増益（売上高+268.1%、セグメント利益+140.6%）  
→ 4Qでは増収増益（売上高+36.4%、セグメント利益+111.0%）
- ▶ B2B事業では、日本国内だけではなく米国・欧州を中心とした海外ネットワークの拡大が進み成約点数が増加。加えて相場高による平均成約単価が高値を維持したことにより取扱高は引き続き拡大
- ▶ C向け事業では、需要期による販売顧客数の増加に加え相場の上昇もあり引き続き増収。加えてプロダクトマネジメントによる収益化を実現し、利益率向上



### 売上構成

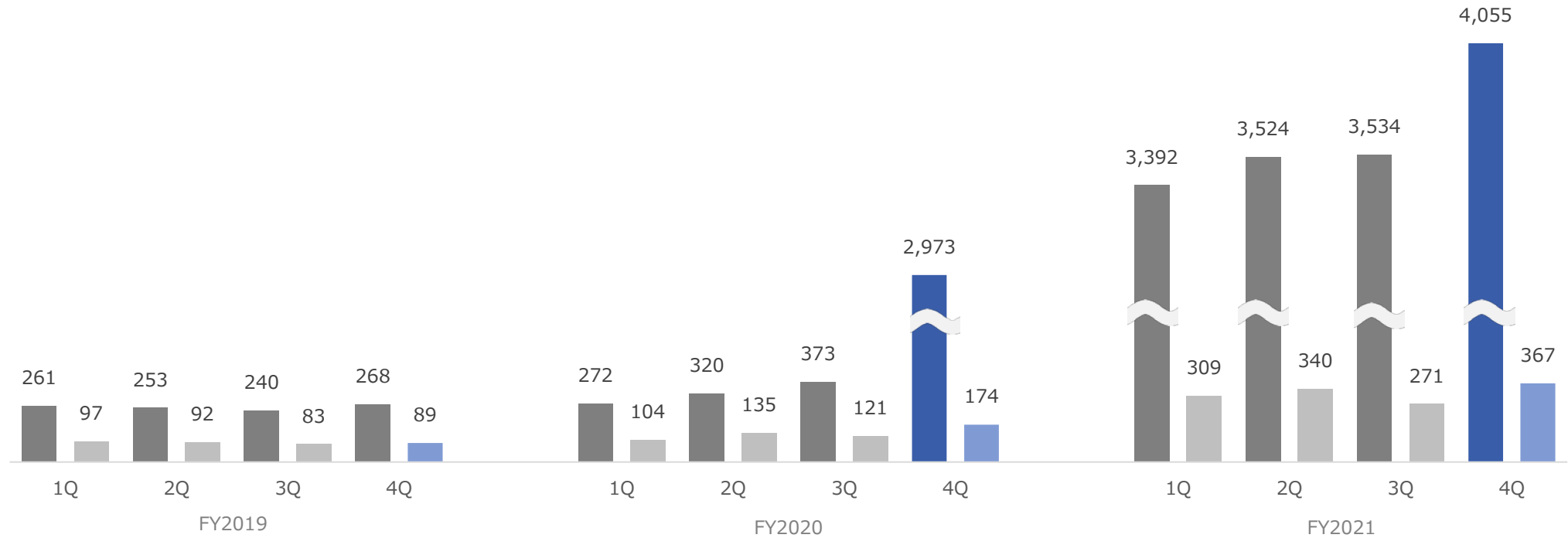
(百万円)	FY2020	FY2021	YoY
B2B事業	2,282	5,701	+149.8%
C向け事業	1,659	8,813	-
調整	0	△8	
<b>売上高</b>	<b>3,940</b>	<b>14,506</b>	<b>+268.1%</b>

### KPI

		FY2020	FY2021	YoY
B2B事業	取扱高 (百万円)	17,381	32,443	+86.7%
	成約点数 (点)	448,626	657,599	+46.6%
	会員数 (会員)	2,160	2,652	+22.8%
C向け事業	取扱高 (百万円)	1,654	8,813	+432.8%

■ 売上高 ■ セグメント利益

(百万円)

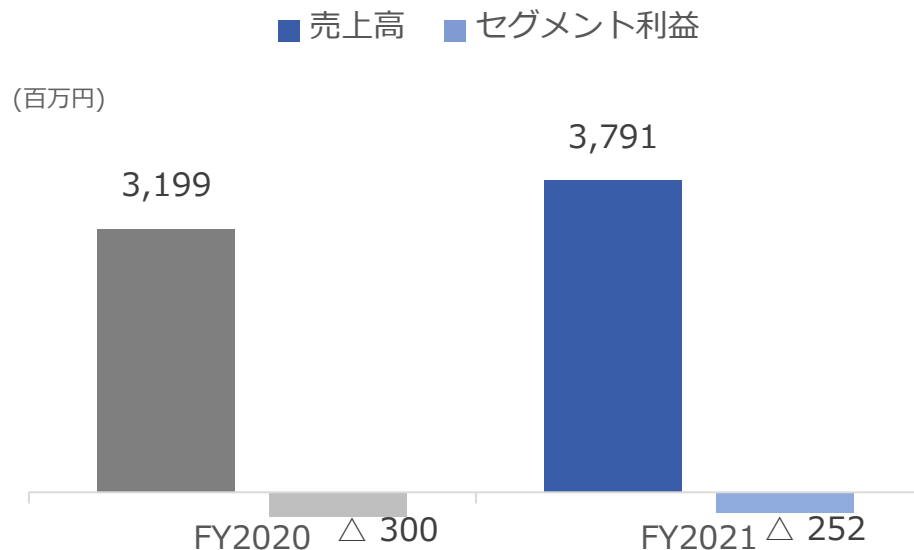


※ 2018年以前の数値については、その他情報流通事業としての開示のため、セグメントでは公表しておりません



# 2021年度 通期実績と4Q解説

- ▶ 通期前年同期比で増収増益（売上高 +18.5%）  
→ 4Qでは増収減益（売上高 +19.3%）
- ▶ 花きにおいて、会員数の増加に伴い、取扱高が増加。結果、従来のオークネットの花き事業及び東京砧花き園芸市場ともに、増収増益
- ▶ 4QよりPL連結した株式会社グランブーケ大多喜が好調に推移
- ▶ 株式会社メネルジア（以下メネルジアとする）において、iryoo.comの累計登録利用者は増加傾向。更なるサービス拡大に向けてシステム改修に注力



## 売上構成

(百万円)	FY2020	FY2021	YoY
花き	1,054	<b>1,592</b>	+51.1%
中古バイク	742	<b>816</b>	+9.9%
その他	1,402	<b>1,382</b>	△1.5%
<b>売上高</b>	<b>3,199</b>	<b>3,791</b>	<b>+18.5%</b>

1. 2021年度 決算概要
2. セグメント別実績
- 3. 2022年度 業績予想**
4. 参考資料

# 2022年度 連結業績予想

(百万円)	FY2021	FY2022	YoY
売上高	36,710	<b>38,329</b>	-※
営業利益	5,846	<b>6,000</b>	+2.6%
営業利益率	15.9%	<b>15.7%</b>	△0.3pt
経常利益	6,113	<b>6,150</b>	+0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,625	<b>4,054</b>	+11.8%
1株当たり当期純利益	130円56銭	<b>145円03銭</b>	+14円47銭
1株当たり配当金	40円00銭	<b>44円00銭</b>	+4円00銭
配当性向	30.6%	<b>30.3%</b>	△0.3pt

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年度第1四半期連結会計期間の期首から適用するため、2022年度に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっており、対前年同期比は記載していません。

# 2022年度 連結業績予想 セグメント別（オーガニックの成長と一過性の要因）

		FY2021 業績分析サマリ	FY2022 業績予想
全体サマリ		オンラインオークションの需要増加で大きく成長 半導体不足や相場の高値維持など一過性の要因あり	上期においては半導体不足の影響や新型iPhoneの売れ行きの影響により前 年同期を下回るものと予想するものの、下期以降は堅調に推移すると予想 新規事業関連へ積極的な投資を継続
四輪事業	オーガニック	・検査台数や落札シェアは堅調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体不足による新車の長納期化の影響を受け中古車不足が続き、中古車オークションの出品台数及び成約台数減少を見込む</li> <li>・落札シェアや検査台数の堅調な推移により、安定的な収益を目指す</li> </ul>
	一過性	・半導体不足により中古車不足が深刻化	
デジタル プロダクツ 事業	オーガニック	・バイヤー網の拡大により端末単価の高値維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度に発売された新型iPhoneの売れ行きの影響等により中古端末の流通台数減少を見込む</li> <li>・バイヤー網及び調達先の拡大により端末単価を高値で維持し安定した成長</li> <li>・米国事業は、今後も様々な可能性を模索していく</li> </ul>
	一過性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型iPhoneの売れ行き好調により中古端末の流通台数が増加</li> <li>・米国事業は、ビジネス環境の変化により一旦見直し</li> </ul>	
コンシューマー プロダクツ 事業	オーガニック	・海外販売網の強化、ギャラリーレア連結後のPMI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相場の落ち着きにより平均成約単価の反動減を見込む</li> <li>・海外の販売網強化及びグローバルなオークションプラットフォームの活性化</li> <li>・2021年度に引き続き、ギャラリーレアとのシナジーを追求</li> </ul>
	一過性	・円安や需要拡大の中で相場が高値を維持	
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京砧花き園芸市場、グランブーケ大多喜を連結</li> <li>・花き事業で会員数が増加</li> <li>・メネルジアにおいても累計登録利用者は増加傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き事業において東京砧花き園芸市場・グランブーケ大多喜とのシナジーを追求</li> <li>・メネルジアにおいて、引き続き顧客利便性の向上に努めながら、新規機能及びサービスの開発を予定</li> </ul>
共通		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる成長のため積極的な採用活動による人財の拡充</li> <li>・市場環境の変化に対応し、将来の収益の柱とするため、今後に向けた新規事業や研究開発へ経営資源を投入</li> </ul>	

# お知らせ 自己株式の取得に係る事項の決定

- 資本政策の一環として、自己株式の取得に係る事項を決定

(1)取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)取得しうる株式の総数	300,000株(上限) (発行済み株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.07%)
(3)株式の取得価格の総額	600百万円(上限)
(4)取得期間	2022年2月17日～2022年4月30日
(5)取得方法	東京証券取引所における市場買付

中期経営計画を  
2022年5月の第1四半期決算発表後に公表する予定です



1. 2021年度 決算概要
2. セグメント別実績
3. 2022年度 業績予想
- 4. 参考資料**

# 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

資産 (百万円)	FY2020 12月末	FY2021 12月末	増減
流動資産	25,798	<b>30,018</b>	+4,220
現金及び預金	16,776	<b>20,615</b>	+3,839
オークション貸勘定	4,253	<b>3,959</b>	△293
その他	4,768	<b>5,442</b>	+674
固定資産	7,482	<b>6,804</b>	△678
有形固定資産	1,575	<b>1,639</b>	+63
無形固定資産	2,040	<b>1,616</b>	△424
その他	3,866	<b>3,549</b>	△316
資産合計	33,280	<b>36,822</b>	+3,542

負債・純資産 (百万円)	FY2020 12月末	FY2021 12月末	増減
流動負債	10,665	<b>11,039</b>	+373
オークション借勘定	7,032	<b>6,728</b>	△304
その他	3,632	<b>4,310</b>	+677
固定負債	2,977	<b>3,081</b>	+104
退職給付に係る負債	1,744	<b>1,790</b>	+46
その他	1,232	<b>1,290</b>	+57
負債合計	13,643	<b>14,120</b>	+477
純資産合計	19,637	<b>22,701</b>	+3,064
負債・純資産合計	33,280	<b>36,822</b>	+3,542

(百万円)	FY2020	FY2021	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,119	<b>4,249</b>	+130
投資活動によるキャッシュ・フロー	549	<b>388</b>	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,873	<b>△825</b>	+2,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,766	<b>19,565</b>	+3,799



# KPI

			FY2018				FY2019			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四輪事業	オークション関連	取扱高 (百万円)	91,604	87,835	82,512	75,672	79,678	75,559	80,728	73,206
		総成約・落札台数 (台)	114,481	112,557	105,370	103,706	111,672	106,321	111,119	104,544
	会費	会員数 (会員)	14,405	14,399	14,290	14,160	14,173	14,117	14,112	14,146
	検査料※1	検査台数 (台)	218,603	224,102	212,618	243,103	249,240	248,504	258,677	252,425
デジタルプロダクツ事業		取扱高 (百万円)	6,161	4,683	3,556	5,883	5,858	5,494	5,178	7,985
	流通台数	国内事業 (台)	468,473	370,184	258,736	344,763	378,049	406,546	414,670	502,514
		米国事業 (台)	-	-	-	-	-	-	-	-
コンシューマープロダクツ事業※2	B2B事業	取扱高 (百万円)	2,409	2,534	2,219	2,816	2,681	2,673	2,542	2,696
		成約点数 (点)	74,208	81,039	73,271	91,742	86,262	84,546	80,950	90,729
		会員数 (会員)	1,570	1,617	1,650	1,697	1,715	1,724	1,781	1,815
	C向け事業	取扱高 (百万円)	-	-	-	-	-	-	-	-

			FY2020				FY2021			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四輪事業	オークション関連	取扱高 (百万円)	79,527	63,462	87,032	81,057	90,705	87,684	81,561	<b>83,806</b>
		総成約・落札台数 (台)	109,099	96,156	115,610	109,326	119,786	116,417	107,334	<b>103,635</b>
	会費	会員数 (会員)	14,108	14,104	14,267	14,362	14,282	14,420	14,497	<b>14,605</b>
	検査料※1	検査台数 (台)	258,903	223,430	229,815	259,900	266,100	266,475	253,557	<b>256,118</b>
デジタルプロダクツ事業		取扱高 (百万円)	9,562	7,605	7,887	9,024	12,283	12,071	8,738	<b>9,717</b>
	流通台数	国内事業 (台)	591,735	520,791	487,494	543,592	656,847	661,344	510,693	<b>467,773</b>
		米国事業 (台)	89,869	59,611	194,169	308,478	173,951	96,734	46,601	<b>307</b>
コンシューマープロダクツ事業※2	B2B事業	取扱高 (百万円)	2,768	3,720	4,349	6,543	7,324	7,996	8,209	<b>8,912</b>
		成約点数 (点)	96,292	96,093	113,711	142,530	157,627	168,838	158,173	<b>172,961</b>
		会員数 (会員)	1,857	1,943	1,876	2,160	2,237	2,311	2,467	<b>2,652</b>
	C向け事業	取扱高 (百万円)	-	-	-	1,654	2,140	2,179	2,027	<b>2,466</b>

※1 中古バイク検査を含みます

※2 2020年度4Qより、ギャラリーエリアによるKPIが各事業に合算となっております